

刑 法 犯 の 概 況

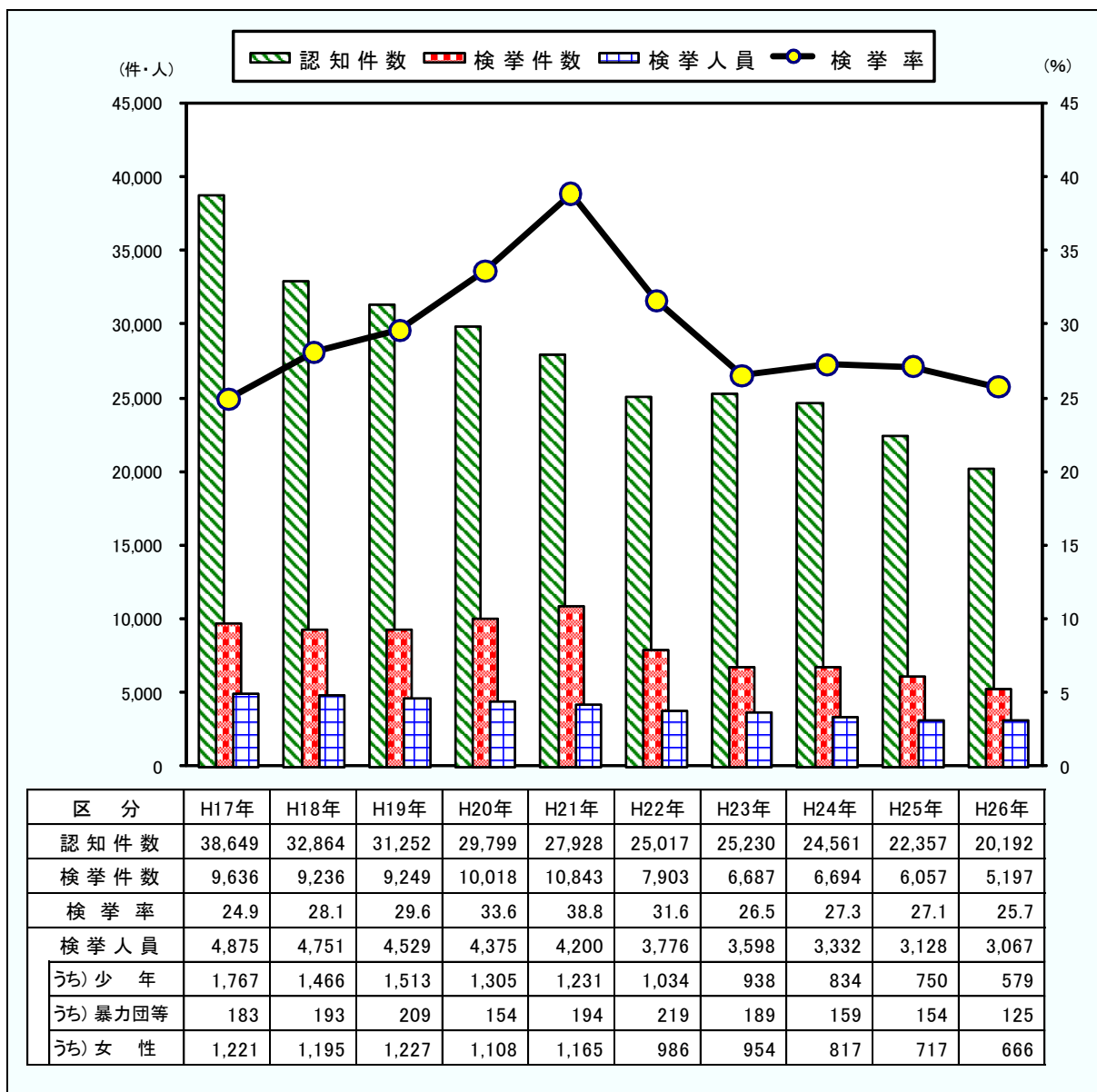
1 刑法犯

● 刑法犯は3年連続で減少

平成26年中の岐阜県下の刑法犯は、認知件数が20,192件、検挙件数が5,197件、検挙人員が3,067人、検挙率が25.7%でした。前年と比較すると、認知件数は2,165件(−9.7%)減少、検挙件数は860件(−14.2%)減少、検挙人員は61人(−2.0%)減少、検挙率は1.4ポイント下降となりました。

刑法犯の認知件数は前年から引き続き減少し、平成以降では元年に次ぐ2番目に少ない認知件数となりました。

図－1 刑法犯 認知・検挙状況 年次推移

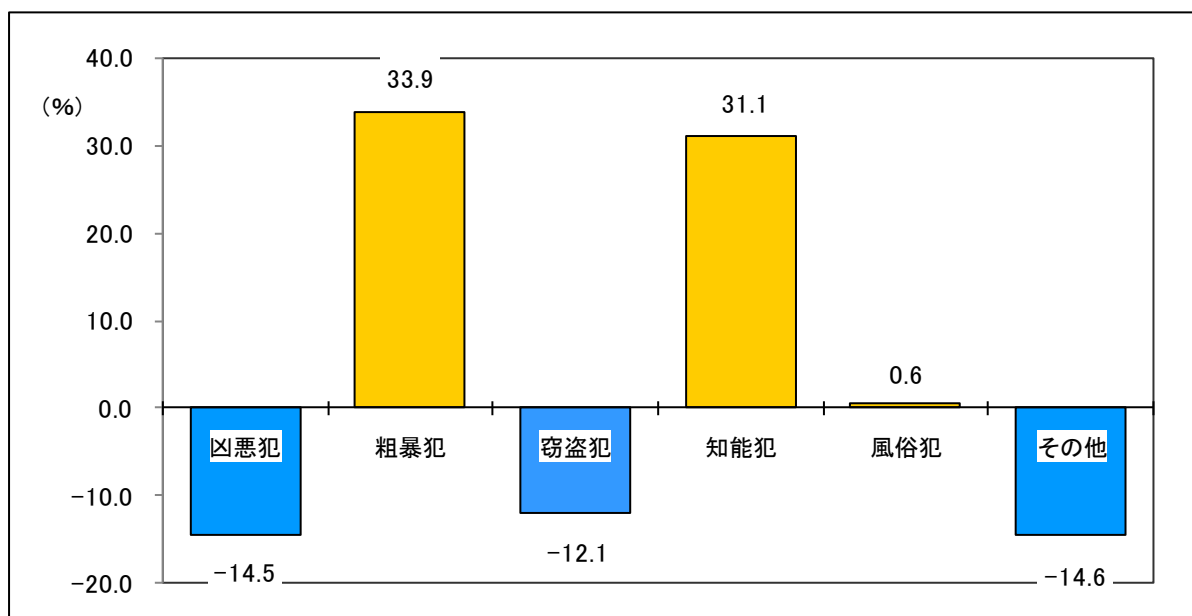


刑法犯の包括罪種別認知件数は、凶悪犯が71件、粗暴犯が968件、窃盗犯が14,555件、知能犯が902件、風俗犯が179件、その他の刑法犯が3,517件でした。前年と比較すると、粗暴犯や知能犯は増加しましたが、窃盗犯は減少が目立ちました。

表-1 刑法犯 包括罪種別 認知状況

区分	包括罪種	総数	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他の刑法犯
平成26年		20,192	71	968	14,555	902	179	3,517
	構成比	100.0	0.4	4.8	72.1	4.5	0.9	17.4
平成25年		22,357	83	723	16,566	688	178	4,119
	構成比	100.0	0.4	3.2	74.1	3.1	0.8	18.4
増減	件数	-2,165	-12	245	-2,011	214	1	-602
	%	-9.7	-14.5	33.9	-12.1	31.1	0.6	-14.6

図-2 刑法犯 包括罪種別 認知件数 前年対比



※ 包括罪種とは、刑法犯のうち被害法益、犯罪態様等の観点から類似性の強い罪種を包括して6種に分類したものをいいます。

- ・凶悪犯 ————— 殺人、強盗、放火、強姦
- ・粗暴犯 ————— 凶器準備集合、暴行、傷害、脅迫、恐喝
- ・窃盗犯 ————— 窃盗
- ・知能犯 ————— 詐欺、横領、偽造、汚職、あっせん利得、背任
- ・風俗犯 ————— 賭博、強制わいせつ、公然わいせつ、わいせつ物
- ・その他の刑法犯 ——— 占有離脱物横領、公務執行妨害、住居侵入、逮捕監禁、略取・誘拐等、器物損壊など上記に掲げるもの以外の罪名

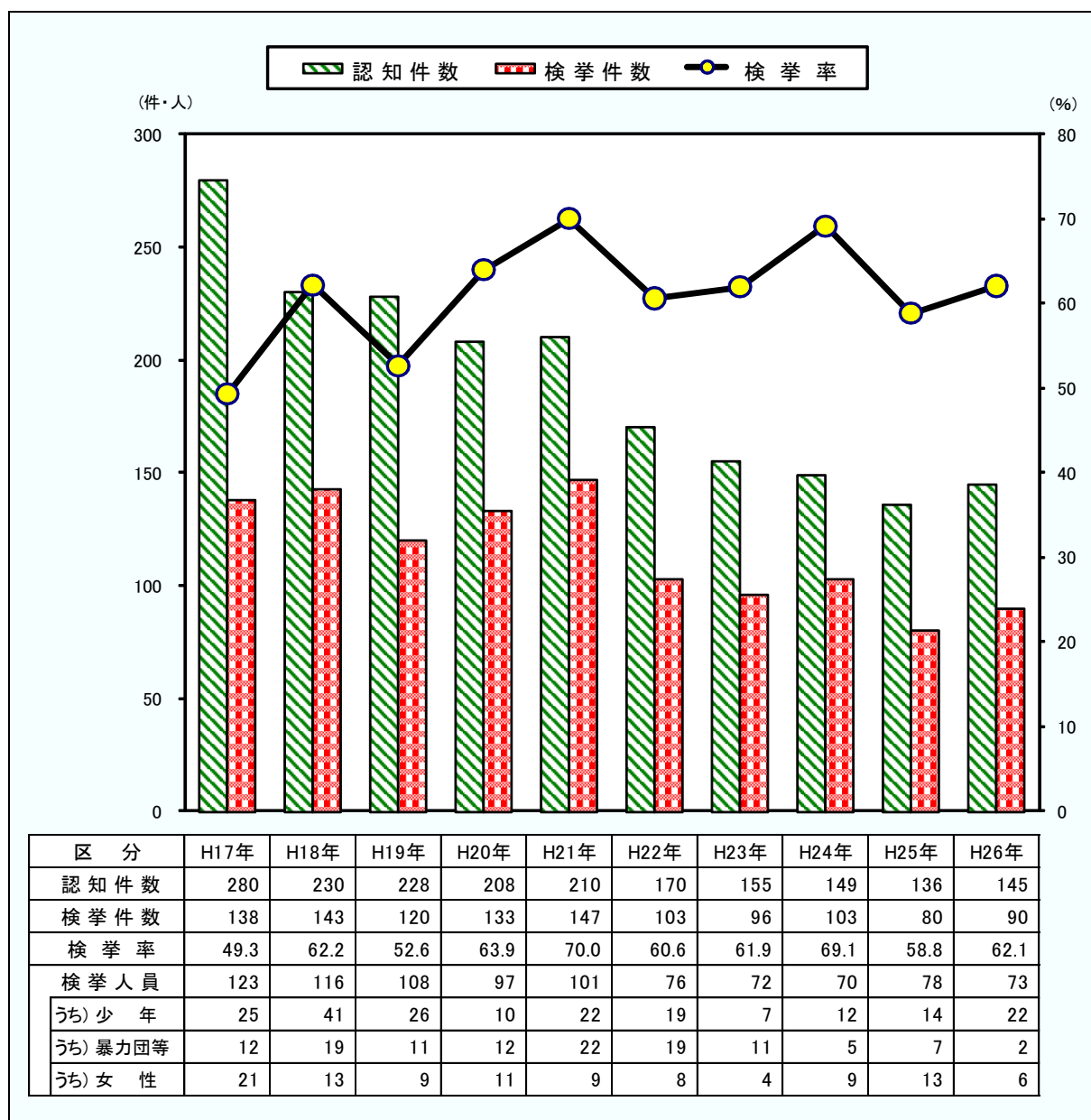
2 重要犯罪（殺人、強盗、放火、強姦、略取・誘拐等、強制わいせつ）

● 重要犯罪は減少傾向から微増

平成26年中の岐阜県下の重要犯罪は、認知件数が145件、検挙件数が90件、検挙人員が73人、検挙率が62.1%でした。前年と比較すると、認知件数は9件（6.6%）増加、検挙件数は10件（12.5%）増加、検挙人員は5人（-6.4%）減少、検挙率は3.3ポイント上昇となりました。

重要犯罪の認知件数は4年連続の減少から転じて、強制わいせつの増加により微増となりました。

図-3 重要犯罪 認知・検挙状況 年次推移

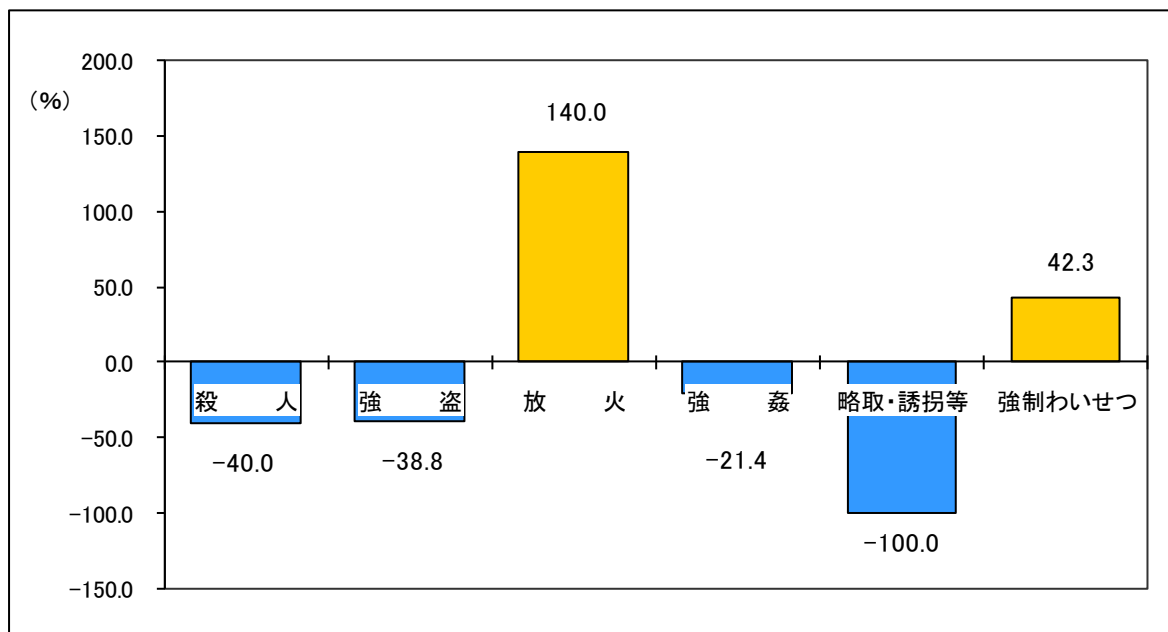


重要犯罪の罪種別認知件数は、殺人が6件、強盗が30件、放火が24件、強姦が11件、強制わいせつが74件でした。前年と比較すると、殺人、強盗、強姦は減少しましたが、放火と強制わいせつが増加しました。

表－２ 重要犯罪 罪種別 認知状況

区分		罪種 総数	殺人	強盗	放火	強姦	略取・誘拐等	強制わいせつ
平成26年		145	6	30	24	11		74
平成25年		136	10	49	10	14	1	52
増減	件数	9	-4	-19	14	-3	-1	22
	%	6.6	-40.0	-38.8	140.0	-21.4	-100.0	42.3

図－４ 重要犯罪 罪種別 認知件数 前年対比



※ 重要犯罪とは、刑法犯のうち殺人、強盗、放火、強姦、略取・誘拐等、強制わいせつの各罪種をいいます。

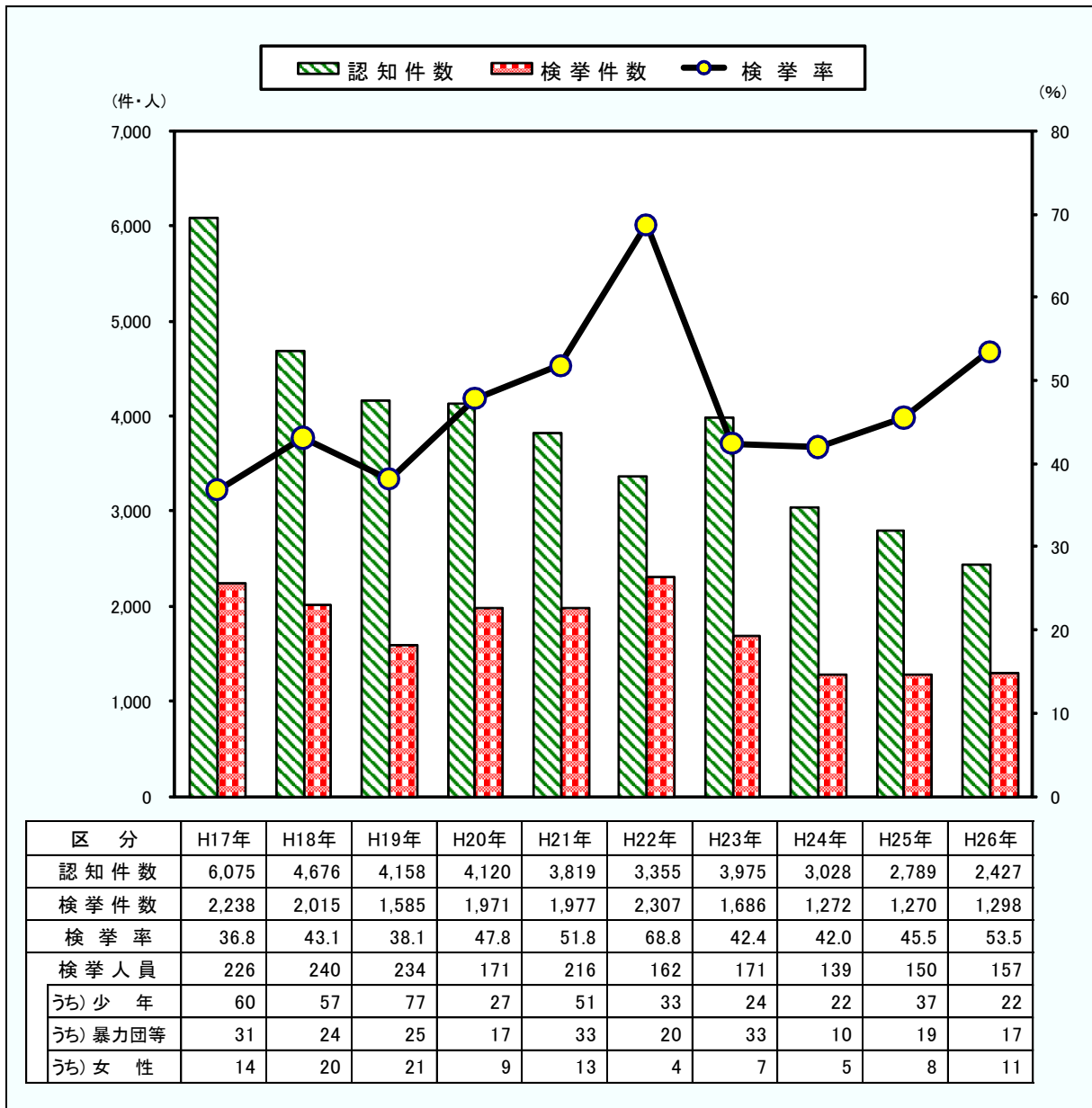
3 重要窃盗犯（侵入盗、自動車盗、ひったくり、すり）

● 重要窃盗犯は統計資料で残る最少を更新

平成26年中の岐阜県下の重要窃盗犯は、認知件数が2,427件、検挙件数が1,298件、検挙人員が157人で、検挙率が53.5%でした。前年と比較すると、認知件数は362件（-13.0%）減少、検挙件数は28件（2.2%）増加、検挙人員は7人（4.7%）増加、検挙率は8.0ポイント上昇となりました。

重要窃盗犯の認知件数は平成23年に8年ぶりに増加しましたが、26年は2,500件以下に減少し、前年から引き続き、統計資料の残る昭和50年以降で最も少ない認知件数を更新しました。

図-5 重要窃盗犯 認知・検挙状況 年次推移

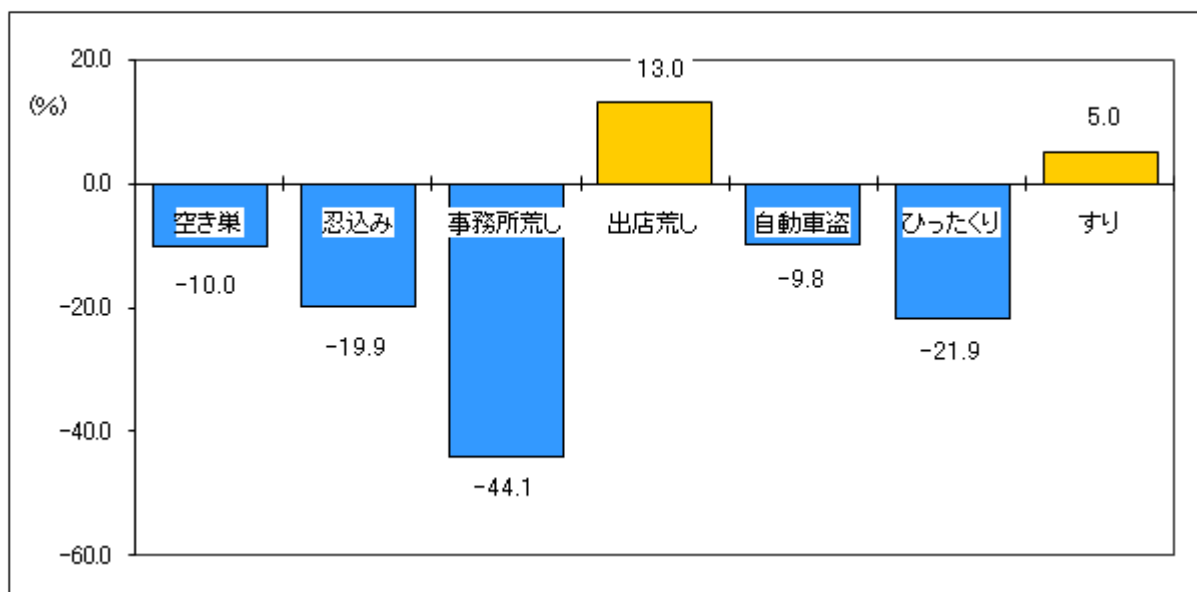


重要窃盗犯の手口別認知件数は、侵入盗が2,075件、自動車盗が285件、ひったくりが25件、すりが42件でした。前年と比較すると、侵入盗、自動車盗、ひったくりが減少しました。このうち、侵入盗は空き巣、忍込み、事務所荒しは減少しましたが、居空き、出店荒し、更衣室荒し、倉庫荒しはそれぞれ増加しました。

表-3 重要窃盗犯 手口別 認知状況

区分	手口	総数	侵入盗	うち)			自動車盗	ひったくり	すり
				空き巣	忍込み	出店荒し			
平成26年		2,427	2,075	915	238	252	285	25	42
平成25年		2,789	2,401	1,017	297	223	316	32	40
増減	件数	-362	-326	-102	-59	29	-31	-7	2
	%	-13.0	-13.6	-10.0	-19.9	13.0	-9.8	-21.9	5.0

図-6 重要窃盗犯 主要手口別 認知件数 前年対比



※ 重要窃盗犯とは、窃盗犯のうち侵入盗、自動車盗、ひったくり、すりの各手口をいいます。